

2009.11.8 教育カウンセリング研修会

学校における 教育相談の基礎・基本

名城大学 曾山和彦

1

まず・・・生徒指導とは

定義

児童生徒の全体的な発達成長を援助する機能

究極目的

児童生徒の自己指導能力を育てること

直面する問題を
自ら解決する力

特定の係だけではなく、全ての教員が行うこと

生徒指導の「機能論」と「領域論」

領域論

車の両輪

教科指導

生徒指導

機能論

全ての内容、領域を貫く生徒指導

教科

領域

3

生徒指導の現実目的 1 ～「積極的」生徒指導～

開発目的

全児童生徒の発達課題習得、達成

予防目的

全児童生徒の問題未然防止(校則指導等)

4

生徒指導の現実目的 2 ～「消極的」生徒指導～

問題解決・治療目的

特定児童生徒の問題解決(非行等)

5

「機能」としての生徒指導

キーワード

自己決定の場を！！

自己存在感を！！

共感的人間関係を！！

自己指導能力の育成

6

そして・・・学校教育相談とは

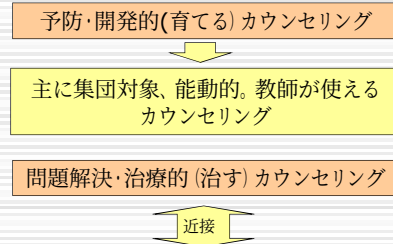
□ 学校において行われる教育相談

生徒指導の重要な機能の一つ。
特に児童生徒の健全な人間関係づくりに
機能し、好ましい適応への力を援助

7

学校教育相談の具体的内容

- 1 カウンセリング (広義) ; 発達課題に悩む人に助言・情報を与えること



<参考: 狭義のカウンセリング>
心理療法と同義。主に精神疾患等を抱える人が対象。
主に個人対象、受動的。

学校教育相談の具体的内容

- 2 ガイダンス; 情報や知識、スキルなどを提供する。主に
学級や学年などの集団が対象
＜例＞学級開きのオリエンテーション、新入生オリエンテーション、サークル活動オリエンテーション等。
- 3 コンサルテーション; 異なる専門性、役割を持つ者が
チームを組み、子どもの問題状況を検討、援助方策を練ること。作戦会議。対象は、問題を抱えた人を援助している人(例; 保護者、担任等)
- 4 コーディネーション; 学校や地域のもつ資源(リソース)
が機能するよう、連絡・調整を図ること
＜例＞子どもの問題行動に悩む保護者に、専門スタッフのいる教育センターを紹介する、等。

教育相談、カウンセリング・・・ 全ての理論、技法を超えた基礎・基本

傾聴

- 言葉の応答に限らず、身体全体、心も併せて
聴けたか(言語及び非言語的コミュニケーションはどうだったか)
- 相手の話を取ってしまわなかったか
- ジョイニング(波長合わせ) ができたか

「あの人が頷くだけで出る勇氣」

10

傾聴の意義と基本技法

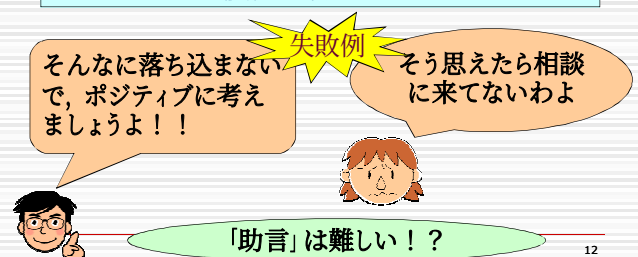
- クライアントの言葉を鏡になって返すことにより、クライアント自身の自己対話が始まる。
- アメリカの心理実験。カウンセラーの技量、技法に関係なく、クライアントが治るときにはカウンセリング場面で必ず「沈黙」がある。

基本5技法
受容、繰り返し、明確化、支持、質問

11

ジョイニング

基本技法を組み合わせ、相手の価値観等に
波長を合わせる



12

ブリーフ・セラピー (短期療法) ～使いたい「治す」カウンセリング理論・技法～

原因の探究



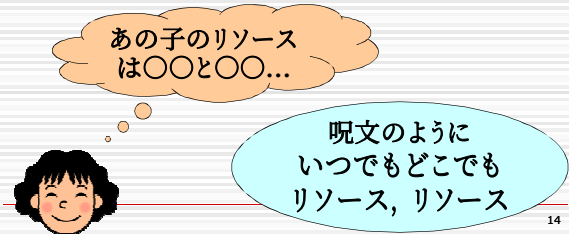
解決の構築
ソリューション・フォーカスト

1. もしうまくいっているなら, 変えようとするな
2. もし一度やって, うまくいったなら, またそれをせよ
3. もしうまくいっていないのであれば, 違うことをせよ

13

リソース探し

人は誰でもリソース (資源) をたくさんもっている



14

例外探し

うまくやれていることはきっとある！！

暴言がひどい



丁寧な言葉を使うこともある

例外の責任追及
どうやったら, 〇〇できたのですか？

15

スケーリング・クエスチョン

学校に元気に通えていた時期を10点とすると
今は何点くらいですか？

3点くらいかなあ

0点ではなくて3点という, その3点分は
いったい何ですか？

16

サバイバル・クエスチョン

今まで大変なことばかりでした
もう何をしてもダメです

大変な中で, よく頑張ってきましたね

17

お互いに気をつけましょう！

保護者の元気を奪う「3つの助言」

先生, 私はどうしたらいいでしょうか？

助言1: 「とにかく前向きに考えませんか」
(それができれば相談に来ないわよ)

助言2: 「〇〇してみてください」で悩み解決
(次も困ったら先生に助けてもらえるわ)

助言3: 「〇〇してみてください」で悩み未解決
(専門家のくせに何の役にも立たないわ)

18

お互いに心がけましょう！

保護者の元気を育む「3つの対応」

とにかく、話を聴く～基本5技法(受容、繰り返し、明確化、支持、質問)の活用～
「あの人が頷くだけで出る勇気」

正論をぶつけない～「でもね」に注意～
「わかっているけど、あなたに言われたくない」

引き分けを目指す～勝たず、負けず～
「第3の道を探す」

19

演習；「話の聴き方」

<テーマ>私の趣味(好きなこと)

・聞き手；「〇〇さんの趣味について話をしてもらえますか」

・話し手；2分間話す

＊聞き手は、「しっかり聴く」ことを心がける

20

ロールプレイの意義

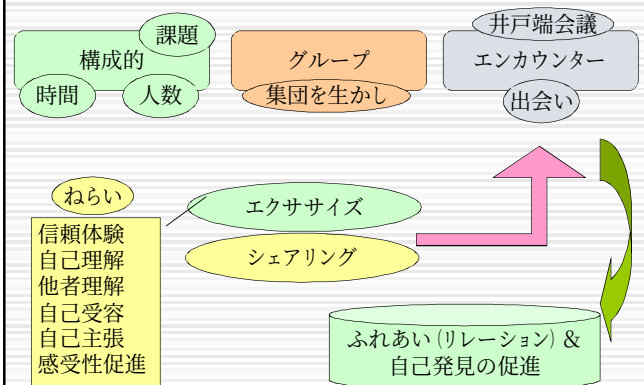
何故、ロールプレイを行うのか



ロールプレイは「道場の竹刀稽古」。本番で斬らない、斬られないために稽古を積む
(河合、1998)

21

構成的グループエンカウンター(SGE) ～使いたい「育てる」カウンセリング理論・技法～



22

ソーシャルスキルトレーニング(SST) ～使いたい「育てる」カウンセリング理論・技法～

してみせて 言って聞かせて させてみて
ほめてやらねば 人は動かず

<基本展開>

1. インストラクション(言語教示)
2. モデリング(示範)
3. リハーサル(実行)
4. フィードバック(評価)



23

最高・最強のSST ～教師によるモデリング～

1. あいさつ上手；「おはようございます」
2. うなずき上手；「うんうん」、「なるほど」
3. お礼上手；「ありがとう」



教育のプロとして、常にロールモデルとなる

24

最高・最強のSGE

～他者評価によって育まれる自尊感情アップをねらう～

最終的にめざしたい「Y小キラキラタイム」



ここをめざす一里塚 「いいとこ四面鏡」

SGEのねらいは、「自己受容」促進
SSTのねらいは、「お願いします」という言葉かけ

25

参考文献

- 新しい学校教育相談の在り方と進め方 (栗原 慎二)
- 先生のためのやさしいブリーフセラピー (森俊 夫)
- エンカウンターで学級が変わる (國分康孝)
- 学級再生 (小林正幸)
- カウンセリング入門 (河合隼雄)

他

26